

【別紙様式 = 中学校用】

都道府県番号	13
都道府県名	東京都

【 】

・ 学校名及び規模

学校名	大田区立田園調布中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	2	0	7 学級	16 人
生徒数	83	61	76	0	220 人	

研究の概要

- (1) 研究主題 各教科における基礎基本の定着と
個に応じた学力の向上を図る授業の工夫
授業形態と教材の工夫・指導に生きる評価
- (2) 研究主題設定の趣旨
数学科では、習熟度別学習の指導の工夫や教材の開発、評価のあり方について検討し、基礎的な知識と技能及び数学的な考え方を育成するとともに個に応じた学習のあり方を工夫改善する。
英語科では、T T や少人数制学習の指導の工夫や教材の開発、評価のあり方について検討し、英語に対する興味関心を高め、表現や理解の能力を育成する。

研究の概要

- (1) 研究推進体制の工夫
- ・ 本校の生徒の学習に対する実態や意識を調査する為に、学習に関する意識・実態調査を実施し、集計分析する。
 - ・ 基礎・基本分科会にて、各教科における基礎基本を明確化し、確認する。
 - ・ 指導と評価分科会にて、各教科における評価や指導の方法についてまとめ、各教科における工夫や実践を共有化する。
- (2) 研究の実際
- 数学科において、年間の指導の流れの中で、既習の知識や学力の差が大きいと思われる単元や部分において、習熟度別クラス編成における授業を取り入れることにより、個に応じた学習が可能となり、基礎基本の定着やより発展的な学習にも取り組めると考え、数学に対する興味や関心も高められると仮定した。
- また、英語科においては、コミュニケーションを必要とする部分において、少人数制授業、グループ学習、ペア学習等を取り入れるとともに、興味関心のある深い内容の教材の工夫、一人ひとりを大切にす指導の工夫によって、各自の学習が、より積極的に行なわれ、英語に対する興味関心を高め、表現や理解の能力を伸ばすことができると考えた。
- 指導方法分科会（英語科・数学科）にて、学習形態の工夫についての研修を深め、各教科の実態に合わせて、少人数制授業、習熟度別授業、T T 形態の授業、クラス単位一斉形態の授業等を学習単元や内容によって組み入れ、実践を行なった。
- また、基礎・基本の定着を図り、発展的な学習や補足的な学習など、個に応じた指導のための教材開発や指導法の工夫を研究した。
- 生徒の学力検査の結果をもとに、補足的内容を加えたり、指導改善をおこなった。
- (3) 研究の成果と課題

【成果】

- ・ 各教科における基礎・基本をまとめ明確化することにより、基礎基本事項の定着を図るための工夫改善が各教科指導において見られた。
- ・ 評価における研修を深め、評価方法の工夫を情報交換し共有化することにより、各教科における評価方法に工夫改善が見られた。
- ・ 英語科の学習指導においては、生徒の実態や教材に応じて、T T、一斉授業、グループ学習、ペア学習を取り入れた。ゆっくりとていねいに進め、warm-up 学習により、基礎的な力の定着を図った。また、歌、映画など興味関心を引きつける教材の工夫、表現力をつける教材の工夫を図った。

【課題】

- ・さまざまなクラス編成や学習形態をとることは、安定した生徒の生活状況の上に成り立つものであり、生活指導上の別の側面から厳しい状況にある面もあり、生徒の実態に即して計画していく必要がある。
- ・生徒の学習に対する意識・実態調査の分析が生かされてない面がある。もう一度分析結果を検討し、各教科の学習指導に生かしていける部分の洗い出しをする必要がある。

(4) 研究成果の普及の方策

- ・HP作成し、研究経過を掲載 (<http://academic2.plala.or.jp/dncf/>)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	1 5年度からの新規校	1 4年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	